



真庭市議会広報

第64号

令和3年 2021年
6月1日発行

まにわ

新

体制で スタート



19ページに議場写真など新体制を掲載



旧遷喬尋常小学校のクスノキ

議会事務局も新体制
左から、池田・畦崎・三浦・氏平・南

議長に小田、副議長に岩本

議長

副議長



議長 小田 康文



副議長 岩本 壮八

新体制で

スタート

令和3年4月28日に開催した令和3年第3回臨時会で議長、副議長を選出しました。また各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集特別委員会、監査委員等をそれぞれ選出しましたので紹介します。

この体制で2年間頑張ってくださいますのでよろしくお願い致します。

文教厚生常任委員会



委員長
10 大月 説子



副委員長
11 伊藤 義則



4 浅野 和昭



2 伊賀 基之



16 入澤 廣成



14 氏平 篤正



24 河部 辰夫



20 妹尾 智之

総務常任委員会



委員長
7 柴田 正志



副委員長
3 黒川 愛



1 緒形 尚



18 小田 康文



12 加藤 大悟



21 古南 源二



13 西田 文子



9 森田 敏久

議会改革待ったなし

真庭市議会 議長 小田 康文

真庭市議会に対しご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。

我々議会は市民の幸福追求を最大の目標として活動しています。共通の目標をもつ執行部のチェック機関として、二元代表制の一翼を担うべく是々非々で議会運営に取り組んで参ります。

議会改革が待ったなしです。議員定数については議員全員でしっかりと協議を

重ね、合意形成をはかり、成案を得られるように努力して参ります。また議会の調査・研究内容や審議内容をあらゆる手段を用いてできるだけ素早く公開し、市民に対して説明責任を果たすことが議会改革の端緒であると考えています。

市民の皆様は議会の存在意義と理由をご理解頂けるように、最大限努力してまいります。

議会運営委員会

委員長



緒形 尚

副委員長



妹尾 智之



大月 説子



庄司 史郎



柴田 正志



吉原 啓介

議会広報編集特別委員会

委員長

副委員長

委員

吉原 啓介

黒川 愛

伊賀 基之

大月 説子

緒形 尚

森脇 正和

集合写真を24ページに載せています

真庭市監査委員



古南 源二

産業建設常任委員会



委員長
17 庄司 史郎



副委員長
8 妹島 弘和



19 岩本 壮八



15 長尾 修



22 中尾 哲雄



6 福島 一則



23 森脇 正和



5 吉原 啓介

岡山県中部環境施設組合 議会議員



小田 康文



伊藤 義則



河部 辰夫



大月 説子



氏平 篤正

以上が本会議で選出された人事です

市民の付託に応える

真庭市議会 副議長

岩本 壮八

真庭市としての意思を決定する議会の役割が益々重要となっております。現下のコロナ禍による市民の不安や厳しい経済状況に、議会としてどう応えていくかが問われております。

議員が市民の中に飛び込み、その実情を汲み取り、いかに行政施策として反映させるかが議員の責務だからです。首長には地方自治を行う上で必要な予算の編成や提案、執行権はありますが、最終の意思決定は議会に委ねられています。このことを私たち議員は自覚し、市民の付託に応えていかなければなりません。市民皆さんの多様なご意見をお聞かせください。

3月定例会

会期2月19日～3月11日

令和3年度当初予算

3月議会の会議録は6月上旬、ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

522億5,769万円

を可決しました

一般会計当初予算	315億5,000万円
特別会計当初予算	125億9,859万円
公営企業会計当初予算	81億 910万円

対前年比 11億2,972万円(2.2%)増 予算特集は10ページに掲載

【主な内容】今回の一般質問は13人

- ・令和3年度当初予算12件及び補正予算11件を可決
- ・議案13件を可決
- ・人権擁護委員10名を同意

令和2年度3月補正予算

(千円を四捨五入)

1,017万円

の増額

左下に会計別予算集計表を掲載

補正後予算額 599億4,087万円 **対前年比** 96億3,599万円(19.2%)増

令和2年度3月補正 会計別予算集計表

単位:万円

会 計 名	3月補正額	補正後予算額
一 般 会 計	34,546	3,994,650
国民健康保険特別会計	△12,721	502,084
後期高齢者医療特別会計	△1,977	77,147
介護保険特別会計	2,674	625,177
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	△222	4,415
浄化槽事業特別会計	△156	7,394
津黒高原観光事業特別会計	0	3,467
クリエイト菅谷事業特別会計	0	897
温泉事業特別会計	△2,019	12,574
特別会計合計	△14,421	1,233,155
水道事業会計	△8,547	251,786
下水道事業会計	△3,097	345,819
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	△7,465	168,678
公営企業会計合計	△19,109	766,283
合 計	1,017	5,994,087

(千円を四捨五入)

一般会計 主な歳出

新型コロナウイルス予防接種協力金に4,680万円

新型コロナウイルススワクチン接種を迅速に進めるため、病院等に協力を支給する新型コロナウイルス予防接種協力金事業4,680万円を計上し、国の補正予算に伴い、橋りよう点検事業4,850万円、国土調査事業1,825万円を増額しています。

総務費は、特別定額給付金事業等で1億5,844万円を減額、民生費は、乳幼児・児童生徒医療費給付事業、児童手当等により2億1,503万円を増額しています。

新型コロナウイルススワクチン接種を迅速に進めるため、病院等に協力を支給する新型コロナウイルス予防接種協力金事業4,680万円を計上し、国の補正予算に伴い、橋りよう点検事業4,850万円、国土調査事業1,825万円を増額しています。

諸支出金は、真庭市は、真庭市公共施設整備等基金積立金の増額等により、14億5,184万円を増額しています。



令和2年度に点検した神橋 勝山

主な 議決 内容



手話で委員会報告をする岡崎委員長

手話言語条例を制定

手話が音声言語である日本語と対等の「言語」であるとの認識に基づき、ろう者や手話言語に対する理解をさらに広げ、手話言語を使用できる環境を整え、市、市民、ろう者、事業者が一体となつて安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指す。

制定したものです。

この条例の制定にあつては、令和元年に文教厚生常任委員会が執行部に対し、政策提言しました。

Q 共生社会の実現に向けて今後の計画は。

A 手話言語施策3か年の計画を作成した。全庁を挙げてどういう取組をするのか検討し、当事者の意見を十分に各種施策に反映させていく。

介護保険料

月100円増

介護保険法により、第1号被保険者の介護保険料率等は3か年の介護保険事業計画に基づき定められます。今回、第8期計画に基づき、所得段階区分及び保険料率の変更を行いました。

令和3年度からの介護保険料は、基準額は第5号、年額6万9,240円で、第7期より月額で100円の増額となります。

所得段階区分の変更は、大幅な介護保険料の上昇を

抑制するため、第7期計画の9段階から第8期計画では11段階へ変更します。

Q 介護保険料の月額100円増額は全国的にも非常に低く抑えられたと思う。これだけ低く抑えられた要因は何か。

A 介護保険料が低く抑えられた要因は、第8期計画の中に新規の新設施設がない。

また、集いの場を含めた介護予防・日常生活支援総合事業をしっかりと推進しているということも一つと考えている。

コンビニで 各種証明書

本年6月から全国のコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末から個人番号カードを利用して住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書が取得できます。

Q コンビニでの各種証明書の交付はどの程度と見込んでいるのか。

A 近隣市の状況から発行数の約3%程度と見込んでいます。

川上老人福祉センター他 3施設を市直営に

川上老人福祉センター、川上デイサービスセンター、川上保健センターの3施設は、令和2年度まで真庭市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、施設管理を行っていました。

内、川上保健センターには蒜山振興局川上出張所が併設され、市職員が常駐しています。隣接する各施設の管理が可能であるため、令和3年度から市直営となります。

令和3年2月
第1回真庭市議会臨時会

臨時会

2月8日開催

令和2年度2月補正予算 3億277万円を可決しました

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため予防接種法に基づいてワクチン接種を行う新型コロナウイルス予防接種事業2億6,574万円を増額しています。

また、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響を受けた小規模事業者及び中小企業者に支援金を支給する事業者臨時支援金支給事業3,103万円、臨時支援金の支給を受ける事業者が実施する感染予防対策や販路開拓等を支援する小さな設備投資等補助事業600万円を増額しています。

補正後全会計予算額 599億3,071万円 対前年比 101億4,372万円(20.4%)増
(千円を四捨五入)

指定管理者が決定

真庭市の施設を管理運営する指定管理者が次のとおり決定しました。

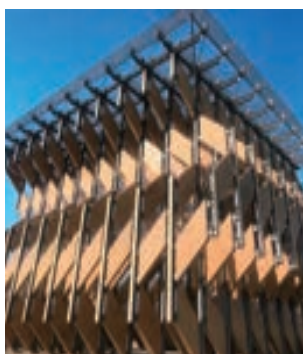


クリエイイト菅谷 センターハウス

▼真庭市クリエイト菅谷（美甘）公募3団体
指定先〓〓〓 代表取締役 高橋真一
期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日
指定管理料2,595万円



パビリオンの内部



CLTパビリオン

▼真庭市蒜山観光文化発信拠点施設（蒜山上福田）非公募1団体
指定先〓〓〓 グリーンズ 代表取締役 石賀幹浩
期間 令和3年7月1日～令和6年3月31日
指定管理料2,812万円

企業版ふるさと納税で人材の受け入れ

企業版ふるさと納税の制度を活用し、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材の派遣を受けるため、真庭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例に「企業版ふるさと納税による派遣職員」を追加しました。

指定地域密着型サービス事業にかかる条例の改正

この改正は、国の指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準条例等の一部改正に伴うもので、市が指定する地域密着型介護予防サービス、介護予防支援、居宅介護支援の事業人員、設備及び運営に関する基準を改正するものです。主な改正点は、①感染症対策の強化、②業務継続に向けた取り組みの強化、③認知症介護基礎研修の受講、ハラスメント対策の強化などです。



津山市 64歳
H29年より同職

教育委員に
常本直史氏再任



台金屋 71歳
H25年より同職

監査委員に
近藤英幸氏再任

令和3年4月
第3回真庭市議会臨時会

臨時会

MANIWA
IKAI

4月28日開催

議長に小田康文 副議長に岩本壮八

公用車事故による専決処分の報告、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯を早急に支援するため2,847万円を増額する令和3年度補正予算及び税条例の専決処分の承認、教育委員会委員に常本直史を再任する人事案、監査委員に近藤英幸を再任する人事案、議会選出監査委員に古南源二を選任する人事案3件に同意しました。（敬称略）

また、議長、副議長選挙を行い、議長に小田康文、副議長に岩本壮八を選出しました。選挙の結果は次のとおり。

▼議長選挙：小田康文 13票 中尾哲雄 10票 無効1票

▼副議長選挙：岩本壮八 12票 氏平篤正 12票（同票のためくじによる）

補正後全会計予算額 **522億8,616万円** 対前年比 **11億5,819万円(2.3%)増**
(千円を四捨五入)

総務常任委員会

本委員会は、12月9日、2月2日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《消防本部》

■北房分署庁舎整備

消防本部総務課から、北房分署庁舎整備について説明がありました。

12月の委員会では、北房分署の新庁舎建設場所について、「消防本部・分署等庁舎整備計画」において、現在の消防庁舎の位置がほぼ適正であると示されており、現在地から半径500メートル以内にある公有地3カ所、民有地2カ所で検討し、その結果、現庁舎から大きな移動もなく、現場到着時間に差が生じることがない。また、訓練場と一体的に有効に活用できる、現分署訓練場の東側にある田が最適地となったとの報告がありました。

2月の委員会では、今後のスケジュールとして、令和2年度中に「北房分署庁舎整備基本計画」を策定し、令和3～4年度で用地取得、基本設計、実施設計、業務の開始を行い、令和5年度で旧庁舎解体工事の予定であるとの報告を受けました。

《総務部》

■旧上水田小学校の利活用

財産活用課から、旧上水田小学校の利活用について報告がありました。

廃校等利活用提案募集事業により、旧上水田小学校用地を現在真庭市五名にある障がい者支援施設コスモスの園の建替移設用地として活用したいとの提案を採用したとの報告



現在の北房分署

樹良成文二夫則恵
秀彰廣康源敏一久
本澤田南澤島本
原谷入小古築福山
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員
委員長 委員 委員

がありました。市が建物を解体し、更地にして売却を考えているとのこととです。

Q 付属の体育館も解体するのか。スクールバスの乗降場所になっているが、協議しているか。

A 体育館も含めて解体を予定している。スクールバスの乗降場所の件は協議している。地域に開かれた施設を目指すので、ぜひ使っていたきたいと聞いている。

《総合政策部》

■地域自治振興センター（仮称）

交流定住推進課から、地域自治振興センター（仮称）について説明がありました。

真庭に新しい形の自治が生まれていく場所になることを目指して、設置するもので、行政の縦割りに左右されないで、住民がやりたいことを実現できる場になり、お年寄りから小さい子ども達まで、男女問わず住民が日常的に集まって何か活動を行う。地域を維持していくために必要な経済も

生み出していくことができるような、様々な価値観が生まれていく場を作ろうとするものとのこととです。

規模的には、概ね旧小学校区程度を想定しており、令和3年6月議会条例の新規制定、関係条例の改正をし、7月施行を目指しているとのこととです。

最初の設置を湯原の二川地区で検討を進めており、旧二川小学校を拠点とした設置を目指している。それに伴い、二川コミュニティセンター、湯原健康増進センター、湯原地区生活改善センターの機能を二川地域自治振興センターに移行し、施設の統廃合、複合化を進めていくとのこととです。



旧二川小学校を地域自治振興センターに

文教厚生常任委員会

本委員会は、12月10日、18日、2月1日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《生活環境部》

■津田地域のあし構築に向けて
 暮らし安全課より、津田地域のあし構築の進捗状況について説明がありました。

津田地域は、日常的に落合の中心地までの外出が欠かせない地域ですが、高齢化が進み、車の運転には不安がある、バス停まで歩いていけないといった声があり、高齢者の移動に課題がある地域です。

コミュニティバスの利便性向上と、枝線運行の見直しによる効率化を図るため、市内2例目となる地域運行「津田地域ルート」の新設に取り組んでいます。

令和2年5月から話し合いを始め、地元説明会や二川デマンド交通の視察も行い、運行内容を詰めている段階とのことです。

運行方式は二川と同様に事務局と運転手の役割分担、利用者のルールを決めて行うデマンド型運行となります。



老朽化の進む久世保育園

ます。運行エリアは落合の主要施設を中心に利用者からの予約に基づき、必要なルートを運行します。

4月には運行開始予定で、既存の「吉ルート」と「吉・田原山上ルート」を転換し、地域によるデマンド運行となる予定です。

■久世地域の幼児教育施設整備を

子育て支援課より、久世地域の幼児教育施設整備について報告がありました。

現在、米来幼稚園のこども園化に向けて工事を進めており、4月からの開園を目指しています。その他に3点の久世地域における整備構想の報告がありました。

1点目は久世こども園の充実です。1歳児、2歳児の受入をできるように整備します。

2点目は久世保育園の老朽化への対応です。久世こども園の充実に伴い、老朽化の進む久世保育園を廃園の方向で検討します。

3点目はこども園・幼稚園の給食の対応です。久世地域のこども園・幼稚園の給食を担う専用共同調理場の新設を検討します。現在は小中学校の給食調理場からの提供ですが、新設により、子どもの発育段階に応じた離乳食・幼児食の提供が可能となります。今後、保護者の方へも説明をし、意見を聞いていきたいとのことです。

《健康福祉部》

■新型コロナウイルスワクチン接種に向けて
 健康推進課より、新型コロナウイルスワクチン接種について、国・県・真庭市の役割分担や接種順位、現時点でのスケジュールなどの説明がありました。

真庭市では、全庁的な体制を整え「真庭市新型コロナウイルス感染症予防接種対策推進本部」を設置し、予防接種に関する基本方針の策定や医療機関等との調整、市民への予防接種の調整を行います。

更に「新型コロナウイルス感染症予防接種対策チーム」を設置し、ワクチン接種や健康被害に関する相談を行います。



コロナワクチン代行予約受付の様子

産業建設常任委員会

本委員会は、12月11日、2月3日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《湯原振興局》

■足温泉館を改修

湯原振興局より、足温泉の改修について報告がありました。

足温泉館の更なる魅力向上のため、温泉を源泉かけ流しに、湧出量に見合った浴槽の大きさへの改修、ボイラーの更新、シャワーの上水化、休憩スペースの整備や内装改修等を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、抗菌設備への改善として、カラン等の交換、換気機能の改善として、営業中のメンテナンスが難しく、老朽化して換気機能が低下している換気扇の交換、エアコンのオーバーホールによる機能向上と長寿命化に取り組みます。

Q エアコンはオーバーホールよりも、新しく設置したほうが安く

なるのでは。

A 湯本温泉館に設置しているエアコンの調子が悪く、修理費用

見積が高額であった。足温泉のエアコンはまだ使用可能で、オーバーホールを行い、長寿命化を図ることとした。



足温泉館リニューアル 4.29オープン

《産業観光部》

■鳥獣害対策の進捗状況

農業振興課から、鳥獣害対策の進捗状況について報告がありました。



ジビエカーをラッピング

イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの捕獲数は地域、猟友会のご協力により、昨年と比較して増加しています。ジビエカーの稼働状況も昨年比大幅増となっており、11月末現在ニホン

夫勝八尚郎修資助
辰 壯 史 唯 荘
部 本 本 形 司 尾 元 井
河 初 岩 緒 庄 長 中 福
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員 委員

ジカを223頭処理し、うち180頭を美作の地美恵の郷に出荷しました。加えて池田動物園と連携し、出荷できなかった個体については、肉食獣用の餌として供給を現在試行的に行っているとのことでした。

また、被害が広域化し、深刻になっているニホンザルは、昨年度から猿被害に強い集落モデル事業に取り組み、今年度は加害群の除去に必要なモニタリング調査とGPS首輪の装着準備を進めています。市内の3群の雌猿に首輪を取り付け、行動圏を特定し、定点監視によって個体数を把握し、次年度以降の捕獲計画を策定していきます。

《振興局》

■地域振興計画策定中

各振興局より、現在策定中の地域振興計画の概要について、報告がありました。

地域振興計画は、昨年度策定した蒜山地域振興計画の中で位置づけられた計画で、観光戦略アクションプランに基づき、滞在型観光や関係人口づくりを進めていきます。観光地域づくりの推進のため、各地域の個性に応じた計画です。

振興局ごとに地域の特色を生かし、蒜山地域振興計画をふまえ、観光に特化した地域づくりの計画となるよう進めているとのことでした。

3 多彩で循環性のある持続可能なまち 23億4,400万円

- ・空家等対策事業(利活用) 5,460万円
- ・集落支援員設置事業 1,055万円
- ・蒜山⇄晴海プロジェクト推進事業 4,472万円
- ・CLT建築物整備事業 1億5,443万円
- ・有害鳥獣対策事業 9,585万円



捕獲檻で捕獲したサル

- ・スマート農業技術普及推進事業 800万円
- ・森林循環及び低コスト施業促進整備事業 4,034万円



森林の循環を目指して

- ・地域エネルギー100%のまちづくり推進事業 325万円
- ・林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想推進事業 200万円
- ・価値創造型伴走支援事業 500万円

4 生活しやすく品格のある都市 53億700万円

- ・家屋等被害対策大径広葉樹伐採支援事業 300万円
- ・高機能消防指令システム構築業務 2億2,593万円



消防指令システムイメージ

- ・北房分署庁舎整備事業 7,264万円
- ・生ごみ等資源化施設整備事業 13億2,109万円
- ・2050カーボンニュートラルまにわ構築事業 640万円



- ・道路メンテナンス事業(橋りょう・トンネル) 3億280万円
- ・空家等対策事業(除却等) 1,415万円
- ・コミュニティバス運行事業 1億5,596万円

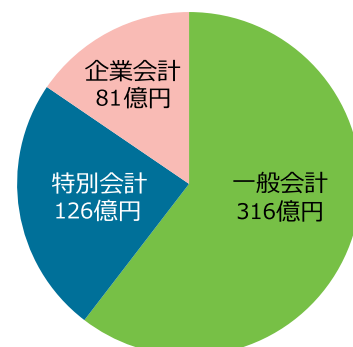


- ・共助による地域の“あし”構築事業 491万円

5 「ひと」と「まち」の将来に責任を持つ市役所 148億7,300万円

- ・Humanプロモーション(シティプロモーション) 680万円
- ・真庭ひかりネットワーク臨時管理事業 1億1,667万円
- ・行政情報データベース活用事業 208万円
- ・老朽化施設除却事業 1億571万円

全会計予算は523億円



令和3年度当初予算会計別集計表

単位:万円

会計名	令和3年度 予算額
一般会計	3,155,000
国民健康保険特別会計	515,723
後期高齢者医療特別会計	76,380
介護保険特別会計	641,688
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	5,108
浄化槽事業特別会計	6,237
津黒高原観光事業特別会計	1,964
クリエイティブ管谷事業特別会計	754
温泉事業特別会計	12,005
特別会計合計	1,259,859
水道事業会計	252,425
下水道事業会計	384,782
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	173,703
公営企業会計合計	810,910
合計	5,225,769

(千円を四捨五入)

真庭市の予算規模 300億は過大か？ (一般会計予算額)

真庭市の一般会計当初予算額は令和2年度が310億円、令和3年度が315億円と300億円程度となっています。真庭市の令和2年度予算額は、標準財政規模の約1.6倍です。県内他市の状況は1.5倍～1.8倍であり、真庭市が突出して予算規模が大きいわけではありません。

標準財政規模は、地方税や地方交付税など地方公共団体の標準的な一般財源の収入額であり、社会保障や道路・施設の建設事業等に係る国・県補助金等の財源が含まれていないため、予算額は標準財政規模より大きくなります。



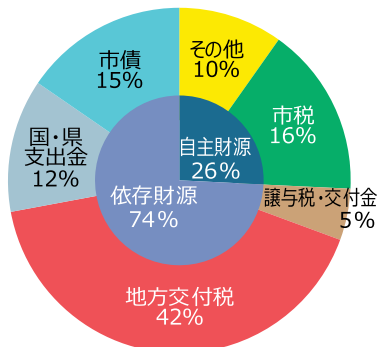
令和3年度 予算

委員長
中尾 哲雄
副委員長
初本 勝

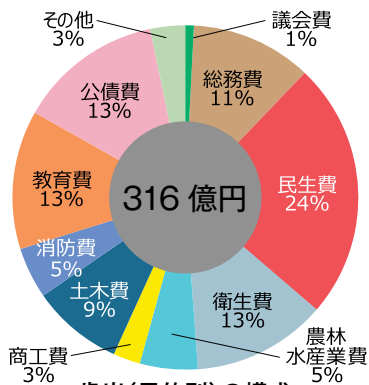
3月4日、5日、議長を除く23人の議員で予算審査特別委員会が開催され、当初予算と補正予算の概要について各部局長、課長等から説明があり、委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。

一般会計当初予算 315億5,000万円 前年比増1.8%

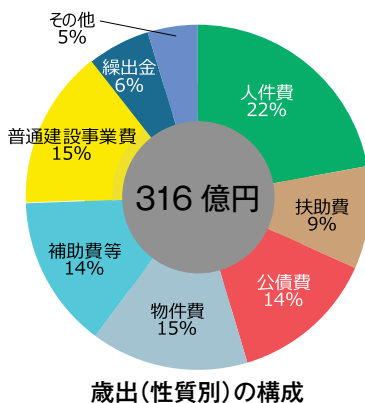
令和3年度の一般会計予算規模は315億5,000万円で、前年度比5億7,200万円、1.8%の増となっております。主な要因は、生ごみ等資源化施設整備事業や、学校給食施設整備事業を計上したことによるものです。



歳入(316億円)の構成



歳出(目的別)の構成



歳出(性質別)の構成

2 ライフスタイルを実現する可能性の進化 85億1,400万円

- ・ハッピーコンシェルジュ事業 (結婚推進) 1,175万円
- ・妊産婦臨時特別給付金支給事業 2,604万円



はぐみセンターのメンバー

- ・放課後児童健全育成事業 1億539万円
- ・郷育を核としたキャリア教育推進事業 472万円
- ・学校給食施設整備事業 7億4,969万円
- ・旧遷喬尋常小学校校舎整備・活用事業 262万円
- ・ミュージアム展示企画事業 884万円
- ・蒜山高原ライディングパーク施設改修事業 1億1,272万円
- ・障害児通所給付事業 7,715万円
- ・市独自の予防接種事業 884万円
- ・歩数アップ健康サポート事業 122万円
- ・シルバー人材センター運営費補助金 1,199万円



一般会計 予算主要事業 抜粋

1 真庭市民の誇りと責任

5億1,200万円

- ・障がい者活躍支援真庭つながり促進事業 363万円
- ・就業環境多様化促進事業 159万円
- ・持続可能な未来杜市推進事業 640万円
- ・二川地域自治振興センター(仮称)開設準備 1,723万円



真庭つながり促進事業展示イベント 昨年度の様子



議長席から見た議席

真庭市議会 3月定例会

3月定例会の議事録は6月上旬から閲覧できます

一

般

質

問

一般質問の記事は800字以内で、質問した議員本人がまとめています

谷本彰良

問

市内高校への進学対策は

市内にはない工業高校、高等専門学校への進学は別として、中学卒業生の6割しか市内の高校に進学していない。真庭高校は2024年度からは落合校地のみとなる。①高校再編により現在の市内高校への進学率6割を何割に上げていくのか。目標値とその施策は。

答
太田市長

平成20年頃は7割前後だった

答弁者



太田昇市長



三ツ宗宏教育長

が、平成23年の定数削減を契機に6割前後に低下している。
①真庭の高校を魅力あるものにしていくことが必要。
落山校地では、馬術を通じて中・高連携事業をやってきた。市内中学校と高校とが一層連携して学習や体験活動を進められるよう、各高校の校地への支援を拡充する。
また、真庭市の郷育教育魅力化コーディネート者を配置し、小・中学はもとより、高校も対象にして、地域と学校を繋ぎさらに郷育を充実する取り組みをしていく。さらに、高校と地元企業や地域、市が一体となつて、地域の人材を高校の専門教育に生かした教育課程やコースも、共に創り出すような事業も計画中である。

市内高校への進学率の目標は、7割以上に回復する事を目指していきたい。

②インセンティブとしてのまにわくんの料金無償化が魅力で学校へ行くとは思っていない。



真庭高校は落合校地のみ

答
澤山生活環境部長

民間路線との関係もある。料金の減額や、インセンティブとなると、どの程度効果があるか考えなければならぬ。乗り継ぎの良さ、通学のし易さを重点に、より使い易い体系を進めて行きたい。

柿本健治

問

人口減少と今後の取り組み



真庭市誕生後16年が経過し人口が約1万500人減少している。区分別に見ると年少・生産年齢人口割合が減少傾向にあり、高齢者人口割合が増加傾向にある。市長は、就任以来全ての施策を人口増に繋げると公言され、諸施策を展開されたとして受け止めているが、結果として16年間で1万人を超える減少となっている。原因をどの様に考えているのか伺う。

新型コロナウイルス感染症は、効率最優先施策に伴う人口の一極集中の弊害として感染防止策の困難性、医療体制や保健所機能の合理化など社会構造の脆弱性を露呈したように思う。

コロナ後の社会構造の変化への対応で、均衡の取れた人口区分による人口分布が求められ従来以上に地域資源を活用した地域づくりが求められる。真庭の地域資源は、豊かな自然と森林資

源等を活用した農林業の活性化が重要と考える。

専業農家の支援を強化すると共に地域資源を活用した「真庭スタイル」として効率最優先ではなく、ゆとりを持ちながら生活できる仕組みとして、2種兼業農家への支援が必要では無いか所見を伺う。

答

太田市長

バブル期、抜本的な改革をすれば違ったのが残念ながら出来なかった。

2種兼業農家の果たす役割は大きなものがある。

コロナワクチン接種対策

問

4月から高齢者へのワクチン接種開始に向け、具体的なスケジュール等不透明な点が多く現場は苦慮されていると思う。医療関係者を始めマンパワーが必要と考えるが、人的確保はどの様になっているか伺う。

答

太田市長

真庭市内6病院と18診療所の24医療機関が予防接種



対策本部の設置

を行う。医師会を始め関係者に感謝したい。マンパワーの不足について、業務が多くなる対応として接種協力金を3月補正予算に盛り込んでいる。

初本 勝

問

安全・安心・住みやすいまちづくり



この質問は、平成22年6月、24年12月の議会で質問している。昨年総務常任委員会、消防本部分署庁舎の整備計画が示された。築47年以上経過した庁舎の整備を検討しているということとは承知しており、富原地区の一部が新見消防署との応援協定の締結で、病院収容時

間の短縮となっている。令和元年病院収容時間は40.6分であり、市内にはその時間内で病院に収容できない地域があり、美新分署を整備する場合には、直線で5.6km南に建設することを提案する。

そこから出勤することで、勝山地区の平均所要時間を超える場所がなくなると思う。以前私が質問した時には心拍停止から10分以内に到着することが必要であるという考えから質問している。

答

太田市長

議員は一貫して安全、安心のために消防関係の質問を



現在の美新分署

いただいている。昨年10月に消防本部と分署等庁舎整備計画を策定するプロジェクトチームをつくり検討した。この計画の中で救急件数、病院収容の所要時間、現有職員数の3点から検証した。

その結果、現在の1本部1署4分署及び消防庁舎の位置はほぼ適正であり、整備すべき庁舎は本署について管轄の人口、救急件数が多い北房分署である。

議員から質問の病院の収容時間を1秒でも短縮することが各所で望まれており、どこから見ても1番いい場所を選ばなければならぬ。分署を建設する場合、質問にあったように、令和元年度の所要時間は40.6分となっており、指摘のように長いところもある。

分署位置の問題もあるが、道路整備も絡ませて、平均より短くする努力が必要と思う。遠い所は26カ所のヘリポート、160カ所のまちかど救急ステーションを有効活用し、命を救いたい。美新分署の整備は、提案も参考にし、検討を進めていく。

岩本 壯八

問



専用のグラウンド ゴルフ場新設を

高度な技術を必要とせず、ルールも簡単なことから、高齢者を中心に定着しているグラウンドゴルフ。ただ単にプレーを楽しむということだけでなく、公益社団法人日本グラウンドゴルフ協会が行った健康調査では、グラウンドゴルフを楽しむことで、運動器症候群の予防や健康寿命延伸にもつながる効果が報告されている。健康維持だけでなく生きがいにもなっている。市内に本格的な専用施設はなく、広域大会などは近隣市町に頼らざるを得ない。競技人口を増やし、活発にするためには、芝生管理の行き届いた高規格な専用グラウンドゴルフ場を新設すべき。こうした取組が健康寿命延伸による医療や介護費の削減、高齢者の生きがい対策にもつながる。

答

太田市長

市もスポーツ協会、老人ク

ラブ連合会に補助金を出し、大会などの活動を支援している。専用ゴルフ場の新設ではなく、市内の利用できるところをもっと使っていただきたい。

不登校児童・生徒 等への学習支援を

問

市では本年4月よりGIGAスクール構想が本格スタートし、児童・生徒に1人1台の端末が整備されるが、①不登校児童・生徒に対してはどのような対応をするのか。②不登校の子どもたちがオンラインで自宅学習がで



タブレットを使った授業 天津小学校

きるのか、それが出席扱いとされるのか。

③生活困窮の中学生へ、通信添削による学習支援はできないか。

答

三ツ教育長

①不登校児童・生徒、保護者の希望に沿い、みんなが活用できる形を整えたい。②要件を満たした場合に出席の扱いができる。③ネット上で課題の配信・回収・答えを出して解説も掲示する支援をしながら、教職員の負担も十分配慮してICTを活用した学習を進めたい。

問

河部 辰夫



水清き水源の里 真庭づくり

政は治山治水が基本である。しかし現実には野山は荒れ放題で、のどかな田園風景も一変している。耕作放棄地ばかりが目立つ今日である。元来、自然豊かな真庭の地は、春夏秋冬季節の変化に富み、それに合った仕事をして生計を立てて来た。しかし今、集落は限界を



北房ダム 阿口

迎え消滅している所も多々見られる今日である。そこで対策として以下の点について市長の見解を求める。

①水づくりに植林した山々を雑木林に戻すこと。②全ての水生生物が生息出来るように土砂を取り除くこと。③水源保全のため旭川水系のダムを撤去すること。④教育に自然の恩恵を体感させる時間を設けること。

答

太田市長

①真庭は8割が森林であり、その多面的機能を持っている。課題はたくさんある

答

三ツ教育長

が、全国的に見れば森が守られ、林業を営み、木材関連産業も頑張っている。今後その環境を保全しながら経営が成り立つように森林経営管理制度等をうまく使って、切って使って植えるという森林サイクルをつくっていくことが、真庭の永続的な繁栄をさせることになる。②多分、川を20〜30年見ている人は、川に土砂が堆積し河床が高くなつて樹木が繁茂している。それが災害につながる。とみる人が多いと思う。法定河川は県の管理であるが、その要望を強くし、水生生物の保護や河川の汚濁防止を県と協議しながらもつと速度を上げていくよう図っていく。③旭川水系には11のダムがあり、真庭市内に湯原と社口、北房ダムがある。多目的な機能があるが、ダムそのものが水を滞留する訳だから決して水生生物にとつてよくない。今ダムを撤去することは出来ないが河川管理者側と協議を進めていきたい。

④現在、全ての学校で自然体験学習を行っている。

柴田 正志

問

ゴミ出しの課題と今後



①地域によっては、ゴミステーションまで距離があり、自動車にゴミ袋を積み運んでいたが、高齢となり免許を返納し、夫婦とも足が悪くゴミを持っていくことが出来ない高齢者世帯がある。今後、益々に人口減少と高齢化が進む中で今まで普通にできていたことができなくなる事例の一つがゴミ出しであると思う。実態調査を行



回収されるゴミ

い、何らかの対策が必要であると考え。②令和6年には生ごみ等資源化施設が稼働し、それに併せて生ごみだけは別に回収する新たなゴミ回収システムが真庭全域で始まる。令和6年よりゴミ出しはどのように変わってくるのか、③どういう方針で新たなゴミ回収の仕組みを作られるのか伺う。

答

太田市長

①令和2年11月から12月に高齢者のゴミ出し支援モデル事業を行っている。ゴミ出しが困難な高齢者への戸別収集、おむつゴミ等の拠点収集及びケアマネジャーのアンケートを実施している。アンケートによると高齢者の中で、ゴミ出し困難者が74%いるという回答があった。ゴミ出し困難者の支援策としては、戸別収集の公助、地域等で支援する共助などが考えられるが、買物、見守り等、多くのニーズも同じような性格があると思っている。課題はわかったもので、これからど

うしていくのか、市民の意見もいただきながら、少しでも改善方策を見出していく努力をやっていく。

②令和6年度を目指して市域全域で生ごみの分別回収をしていきたい。分別の種類が現在の15から生ごみを加えた16になる予定である。生ごみを収集するやり方は生ごみステーションに生ごみの収集容器を置き、24時間365日いつでもゴミが出せる仕組みが良いと考える。

③生産、販売から買う方の側を含め、ゴミの減量化に取り組んでいきたい。

緒形 尚

問



技術的な部分について再検討！

生ごみ等資源化施設整備事業は、生ごみ、し尿、浄化槽汚泥、バイオマス資源をメタン発酵し、液体肥料に資源化する施設を整備する事業であり、生ごみを燃えるごみでなく分別して収集し、燃やすごみの量を少なくする。また燃やして処理していた生ごみとし尿処理



生ごみ等資源化施設イメージ図

実証中で、今後収集に関して課題はないのか。

答

太田市長

①今後のスケジュールは、令和3年度中に設計を、令和4年度から機器の製作や建屋の建設工事に着手する。令和5年度中に施設が完成し、試運転などを経て、令和6年度に運転開始にしていきたい。

②審査項目の中で液肥の製造計画についての評価が6点中、15点と低く、選考委員会からも技術的な部分について再検討や確認を十分行うなど、幾つかの御意見をいただいた。必要なことは議会、市民に公開していく形を取っていききたいと思っている。

③生ごみの収容容器については、市民の方々の意見もいただく中で取扱いしやすい容器を検討するなど、生ごみの出しやすさの向上についても検討をしている。

この事業は、市民の実践による資源循環であり、成功するように、広報誌・ケーブルテレビなども活用しながら、分別の説明会を実施し、啓発を行っていく。

場で水処理していたし尿、浄化槽汚泥を資源として生かすことで、地域循環共生圏、真庭ライフスタイルの実現につながる重要な事業である。生ごみ等資源化施設整備事業について、市長に伺う。

①今後のスケジュールはどうなっているか。

②非価格要素審査が37.4点、価格要素審査が30点、総合評価67.4点となっている。非価格要素をいかに上げていくかが課題なのか。

③現在は、久世地区のみで

小田 康文



問 これで十分だとは思っていない

市民税非課税世帯に属し、要介護3・4・5と認定された方に対し、介護用品を一括して支給する真庭市介護用品支給事業を実施している。日常生活と利便と精神的、経済的負担等の軽減を図るために、支給要件の緩和と支給基準額を増額してはどうか。

答 太田市長

現在は介護者も被介護者も市民税の非課税世帯というのが要件であるが、介護者については一定の市民税課税世帯も対象になるように見直したい。次に、いろいろなお困りのところをどうしていくのか考えていく。これで十分であると思っていない。

問 消防団員の処遇改善を検討する



真庭市消防団初出式

答 太田市長

消防団団員の報酬額は県内15市のうち、倉敷市が3万2千円で一番高く、1番低い市は真庭市で1万円である。部長、班長、副分団長、副団長も県内最低額である。このまま処遇の改善を図ることなく放置しておいてよいとは思えないが、市長の見解はどうか。

真庭市にとって消防団の活動というのは非常に重要な活動である。災害がこれだけ多発する中で、本当に負担も増している。さらに高齢化世

大月 説子



問 林業・木材・木造教育・研究ゾーン構想

真庭市と岡山大学は、関係機関と連携し、真庭市の強みである林業、木材関連産業を活かした地域活性化、地域価値の向上、人材育成を目的として、林業・木材・木造建築に関する教育研究拠点の集積、連携ゾーン整備を進めている。

このことは、真庭市の強み

帯もあつて、いろんな役割が多くなつており、またこれまで消防団は地域の安全・安心を守るために、防火活動、あるいは災害の防止活動以外にも本当に多岐にわたり取り組んでいたといっている。地域にとつてなくてはならないものである。処遇改善は消防団と十分話をしていく中で検討していきたいと思っている。

答 太田市長

を活かす上でも、木材加工業者の人材育成と事業継承のために重要な取り組みと考える。そこで市長に2点について見解を伺う。

①林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想の進捗状況。

②林業やバイオマス関連教育拠点を目指す上での地元人材の育成方針。また、ひと未来応援基金を活用した奨学金のような支援と森林環境税の活用を提案する。

①岡山大学では4月から新生工学部で建築教育プログラムがスタートする。大学側は、大学院設置を早めたという意向で、ゾーン構想検討委員会もそのスピードに対応しながら、インターシップや実地講義などの具体的な検討を進める。庁内にも関係部局によるプロジェクトチームを立ち上げて準備を進める。

②高等教育機関の誘致は、地域内での進路の選択を増やし、地元人材の定着や育成を促し、教育は勿論地域づくりや経済への波及効果も多く、さらに研究者や学生と市

答 有元総合政策部長

ひと未来応援基金は、人材育成に資するものについて一定整理をして、拡充なり整備をしていく方向があるので、その中で検討していきたい。

答 新田産業観光部長

森林環境税は、森林の整備や都市との交流といったことに使えるので、連携の中心によっては活用方法もある。



湯原振興局で行われた検討委員会

妹尾智之

問



子宮頸がんワクチン

子宮頸がんは、ウイルス感染による病気であり、日本では年間1万人が子宮頸がんにかかり、約3,000人の人が亡くなっている。20代女性の疾患の死亡原因第1位ががんである。新型コロナウイルスと違って、このヒトパピローマウイルスは発症さえも予防するワクチンが世界130か国以上で使われており、HPVワクチンの正しい情報を伝えて、接種の判断をしていくための情報が必要ではないか。定期接種の権利がなくなる高校1年生の女子に対しては、助成期間の終了のお知らせはするべきと考える。真庭市としてどのように対応されるのか、市長の御所見を伺う。

答 太田市長

市としても、定期接種の対象を外れる高校1年生相当の人に国作成のリーフレットの個別通知を出したところである。定期接種対象でも

ある小学校6年生から中学校3年生へも、学校を通じてリーフレットを配布している。子宮頸がんでは子宮を失ったり、命を落とすことがないよう、病気やワクチンに対する正しい知識と理解を深めるための普及啓発、がん予防の推進に努める。

手続の押印廃止と書面主義の見直し

問

約99%の中央省庁の行政手続文書の押印が実際に廃止された場合、我が市の行政文書においても何と何が連動して廃止できるのかなどの判断をして、今から廃



市民課申請窓口でのお知らせ

止対象リストの洗い出しを積極的に行うべきと考える。押印廃止と書面主義の見直しについては、何よりも住民サービスの向上に向けて、市長のリーダーシップのもと、早急な洗い出しと対応を期待しているが、市長の見解を伺う。

答 太田市長

市民に関する行政手続、申請などについては、利便性を向上させて、国の法改正に合わせて、可能なものの66種類の手続、申請で押印を既に廃止している。

庄司 史郎

問



ワクチン接種実施の課題と対策は

交通弱者の足と副反応に対する情報、これが市民の皆さんに接種を受けていただく上で大事なポイントになると思う。受けた人が受けられる体制を作って頂きたい。

答 太田市長

課題として改善点が三つ



接種券の発送作業中

ある。一つは予防接種を実施する医療機関の確保。二つ目は、中山間であるがゆえに公共交通機関が十分確保できない。医療機関への移動手段をどうするか。三つ目は、接種方法と副反応に関する市民への適切な周知。

医療機関の確保については、6病院18診療所が対応してくる。移動手段の確保は、まずは公共交通機関の利用、福祉移送サービスやタクシー券の配布など交通費助成の制度を活用して頂きつつも、移動手段の確保が難しい地域については個別に相談してもらえよう周知をしていきたい。

市民への周知については、周知のタイミング、2回目の接種ということになれば、タイミングも効果的なものと

なるよう考える。告知放送にしても、1回の放送で情報を詰め込まずに、情報を小分けして繰り返し出していただく、MITや他のマスコミへの積極的な情報発信で市民に触れる機会が増えるようにしていきたい。

地域振興計画の中心が薄すぎる

問

各振興局で策定中の地域振興の基本構想が、観光という一部門だけ特化した振興策では中身が薄すぎる。地域全体の特色を生かした振興計画と捉えていたら違った。計画の名前も中身を想像できるものに変更してはどうか。

答 太田市長

議論はあると思うが、振興局の振興計画については個性を尊重しようということと、直すものは直していったらいいという柔軟な姿勢でやっていったらと思っています。

名前は、ぱっと見て誤解が生じないような工夫は何か考えたい。

竹原茂三

問

地域認定空家制度の推進



先般の空家調査の結果を受け、真庭市空家対策計画が決定された。住むことが可能な家屋1,638軒（内703軒は改修が必要）利活用の取り組みも記載されており、地域自主組織や各自治会の地域活性化につながる取り組みや空家バンクの登録等を支援している。

この後は、岡山県空き家等対策推進協議会や岡山県宅地建物取引業協会と連携



空家バンク情報で購入された家屋

し、購入後は、各種補助金で支援しているが、購入に至るまで丸投げ過ぎではないか。どんな間取りで改修の必要な場所等記載したカルテを作成すべきと思う。

さらに地域活性化のために、空家の利活用や流通促進を行政が何らかの形で主体的に取り込む必要があると思うが市長の見解を問う。

答 太田市長

この制度自体が、空家を売却、貸出したい所有者が物件を登録した場合に宅建業者や不動産業者の仲介を受けるる制度である。市が宅建業者の立場でやるものでない。

空家バンクの登録を希望する物件の間取りや改修箇所は、業者が募集を行う際に下見会を開催し、所有者、業者、行政が一堂に会し、現状を把握している。仲介契約が成立した物件は、不動産情報サイト「住まいる岡山」に掲載され、詳細な情報を見ることができ、これが建物カルテに相当する。

空家の利活用や流通促進に対する行政の取組は、空家は私有財産なので、常時反復して取引等業務をする場合、

宅建業の登録資格が必要である。行政は除外で、資格を持った業者がするのが一つの体系だと思う。

行政は、空家を地域の財産と考え、地域の活力のため移住定住希望者を受け入れる意欲のある自治会などへの支援として、地域認定空家制度を呼びかけている。

この制度は、地域が空家所有者に連絡を取り合える関係を作り、地域の活動で空家バンクの登録に繋がったときに1万円、活用に繋がったときに3万円を奨励金として支払う制度である。

岡崎陽輔

問



憲法視点で市民のくらし守る市政を

新型コロナウイルス感染症は、現在の日本社会の脆弱さや地域社会の抱える課題、問題点も浮き彫りにした。新自由主義は、金融や労働の分野で大富豪が利潤追求の自由を拡大して、命の格差につながる貧富の格差が歴史上最大まで広がっている。特に、コロナ禍の中で大き



市民に安全安心なくらしを

ることは、全ての人たちに影響を与える。

また、社会保障費が、国民健康保険で約3割引き上げられている。社会保険料比率も上昇している。憲法原則や憲法視点で暮らしを守る姿勢でまちづくりを進めることが必要だ。低所得階層の人たち、声なき声に耳を傾けて誰も置き去りにしない決意が政治に求められる。社会的弱者や少数者への視点で行政を推進していく決意を最後に問う。

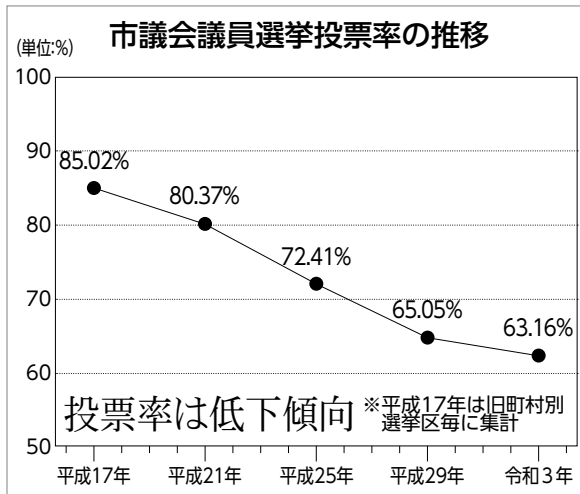
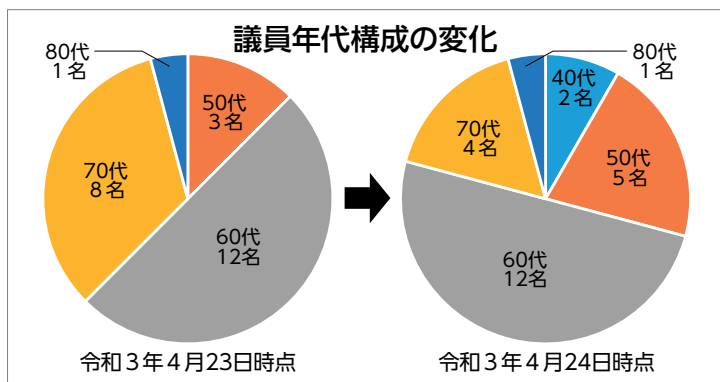
答 太田市長

最終的な自治体の方向性として市民が主体性を持ちながら共生社会の実現を目指す。日本国憲法には、基本的人権としての個人の尊重、幸福追求権そして生存権が謳われている。SDGs未来都市を掲げる真庭市としては、人間の安全保障、相互に認め合い、尊重しあう地域福祉社会の創造ということであり、豊かな自然環境に恵まれ、安全安心で快適な生活環境を享受できる暮らしやすい町を目指す。

新しいスタート



- ・新人議員が5人から9人へ・女性議員は2人から3人へ
- ・合計年齢は1609歳(平均67.04歳)から1502歳(62.58歳)
- 合計107歳の若返り・40代議員は2人



議会改革・議会活性化へ不断の努力を!

議員全員で、取り組むことでスタートした議会活性化、委員会活動を中心とした政策提言は「議会報告会＋市民と語る会」の開催、各種団体との意見交換や先進地視察などを通して地域課題や市民の意見などを聴取し、政策を検討し政策討論会を経て議会として提言するという政策形成サイクルをめざし、毎年ブラッシュアップしながら政策提言することができた。

また、タブレット端末を活用した議会運営では、執行部からの情報提供や議会事務局、議員間の情報共有が迅速に図れるようになり、議会活動の環境は大きく変化した。これらの事業推進には、専門部会(議会ICT化推進部会・議会活性化推進検証部会)での調査研究は大きな役割を果たした。

しかし、令和2年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、議会活動も感染症拡大防止の観

点から、ほとんどが実施できない事態となり、今も収束の目途が立たない状況にある。この状況でも実行できる活動の検討が喫緊の課題となっている。

今後、議会活性化を進めるためには、これまで積み上げた実績を糧に、活性化15策と新たな活性化策の検討を進め、議会として新たなステップとして議会改革と議会活性化へ不断の努力を続けて行くことが重要である。

(真庭市議会活性化調査報告書より抜粋)



太田市長3期目の当選

4月4日、真庭市長選挙は、太田昇候補のほかに立候補がなく無投票で当選が決まりました。

太田市長は、市議会と連携し、「近き者悦び、遠き者来る」（住んでいる者が楽しく幸せに暮らしていると外からも人々がやって来て繁栄する）真庭を作っていくと決意をされました。



当選証書を受ける太田市長

初めての議会全員協議会

4月26日、議場にて初めての議会全員協議会が開催されました。太田市長のあいさつの後、28日に行われた真庭市議会臨時会の運営について議論しました。議会全員協議会は議長が議事を進行しますが、議長が選出されていないため、年長議員の河部議員が座長として議事を進行しました。



議会全員協議会

新人議員のタブレット研修

4月26日、新人及び元議員10名に対し、タブレット端末等の説明会が行われました。最初に、事務局より議会の概要、政務活動費について説明ののち、タブレット端末の操作の説明を受けました。初めて操作する人もおり、悪戦苦闘していましたが、何とか操作出来る様になりました。



真剣な眼差しで

管内の交通事故件数減少

3月25日、真庭市交通安全対策協議会が開催され、令和3年春の交通安全県民運動の期間中、交通安全テント村、街頭指導、広報活動などの取り組みを市内で行うこととしました。

また、交通安全功労者及び功労団体の表彰の推薦があり、個人3名及び4団体が推薦されました。



R313でのテント村 湯原地内

なお、昨年の真庭警察署管内の交通事故は767件（前年871件）死亡者は2人（前年2人）です。

真庭市議会議員 会派の所属状況

※会派は、政策集団であり、派閥ではありません。会派の並びは所属人数五十音順です。

令和3年4月24日届出

森真会 しんしんかい

会派代表者

森小大 庄
田田月 司
敏康説 史
久文子 郎

真和会 しんわかい

会派代表者

長妹柴 入
尾島田 澤
弘正 廣
修和志 成

みんなの会 みんなのかい

会派代表者

古加伊 中
南藤藤 尾
源大義 哲
二悟則 雄

緑真会 りょくしんかい

会派代表者

森西氏 河
脇田平 部
正文篤 辰
和子正 夫

公明党真庭市議団 こうめいとうまにわしぎだん

会派代表者

妹尾 岩
智之 本
壯八

あさひ

会派代表者

浅野 和
明

あす まにわ かんが かい 明日の真庭を考える会

会派代表者

緒形 尚

翠山会 すいざんかい

会派代表者

吉原 啓
介

日本共産党 にほんきやうだんとう

会派代表者

伊賀 基
之

拓 ひらく

会派代表者

福島 一
則

みらい

会派代表者

黒川 愛

GIKAI NO UGOKI

議会 の動き

1月 2月 3月 4月編

SDGs円卓会議を開催

2月9日、久世エスパホールで、市民や真庭SDGsパートナーとともに、SDGs円卓会議が開催されました。4団体の事例紹介の後、「草の根的なSDGsの動きをつくる」をテーマにパネルディスカッションが行われ、その後、円卓座席者によるSDGsアクション宣言がありました。周りのことや未来のことを利他の精神をもって共同していくことが大切ということ共有しました。新型コロナウイルス感染症に配慮して、座席数を制限して開催されました。



SDGs円卓会議

津田地域のあし 出発

4月2日、「津田コミュニティバス」出発式が行われました。このバスは、「まにわくん」の2路線を地元団体が市の委託を受け自主運営するもので、地元団体が運行するのは、市内2例目です。柔軟な運行で、自宅近くまで来てくれるより便利なバスとしてスタートしました。市内の過疎地域の公共交通のあり方として先進的な試みですが、担い手を確保して安定的に運営していくことが望まれます。



期待を乗せて出発

ゆっくり走ろう真庭路

4月6日、真庭市立中央図書館前で春の交通安全県民運動出発式が、交通安全団体関係者50人が参加して行われました。市内一斉に広報活動を行うことで、広く市民に周知し、交通安全意識の高揚を図るとともに交通事故防止の徹底をめざします。



交通安全を願って

高梁市議会オンライン視察

1月28日、高梁市議会ICT化推進特別委員会の視察を受けました。ICT活用による議会運営の迅速化・効率化について、真庭市議会ICT化推進部会が



オンラインでの意見交換

Zoomを活用し、真庭市議会委員会室から高梁市議会へオンラインで説明しました。真庭市と高梁市、離れていても積極的な意見交換が行われました。



日暮しの風景 稲岡篤



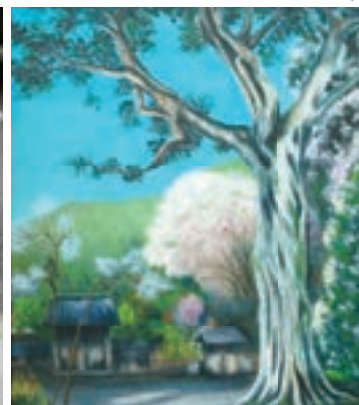
普門寺の花祭り YU



竹やぶから救い出された旭川いちばん桜 森合弘明



勝山のお雛まつりにて T



三浦邸 大島将弘

BO集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。

「投稿!言いたい」は200字以内にまとめ、ご応募ください。文責として氏名を掲載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。

応募先 真庭市議会

宛先:24 ページの帯欄に記載しています

さらなる議会改革を推進

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議会と執行部との連絡、会議秩序の保持に関する事、議会行事に関する事、議案・陳情の取り扱い、議会の対外的問題に関する事、議会の先例、事例に関する事、議会が行う選挙に関する事、議員の儀礼等に関する事など、議会を円滑に運営するため委員の全会一致を基本に協議を進めていきます。

また、議会改革の先導役としての委員会でもあり、市民の方の目に見える議会改革を進めていきます。

議会運営委員会 委員長 緒形 尚

ワンチームで行政チェックと政策提言

市民のためのより良い真庭市づくりには、議会活動が活発であることが必須であると思っています。その議会活動の根本である委員会活動において、市民代表としての行政チェック、市民意見を反映した政策提言など、市議会議員本来の仕事に全力で取り組んでまいります。

総務常任委員会では、議案質疑、政策づくりと委員ひとりひとりが積極的に論議に参加する、また継続調査項目の積極的な研究など、ワンチームとなり元気に活動していきたいと思っています。

総務常任委員会 委員長 柴田 正志

生活に役立つ政策提言を行う

文教厚生常任委員会が所管する事項は、生活環境部、健康福祉部、教育委員会、湯原温泉病院の案件であり、市民の皆さんの生活に深くかかわる内容です。議会が進めている議会改革の一つに、委員会活動を中心にした政策形成サイクルがあります。

令和元年に当委員会が政策提言を行った、「手話言語条例」が今年からスタートします。今年も、市民や各種団体の皆さんとの意見交換を行い、要望を市政に反映させて、共生社会の実現につなげていきます。市民の皆さん、現場の声を聴かせてください。

文教厚生常任委員会 委員長 大月 説子

審議を尽くし、是非を判断

議会の使命は、「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」です。市民の皆さんの大事なお金が、市民福祉の向上に有意義に活かされているかどうか、しっかりとチェックしなければなりません。そのためには、民主的な委員会運営を心掛けることは勿論のこと、委員会において行政が行う施策のひとつ一つを丁寧に、しっかりと審議を尽くし、是非を判断して参ります。また、政策についても委員会において議論し、執行部に対し提言して行きます。

産業建設常任委員会 委員長 庄司 史郎

市民 の 広場

ここは市民みんなで作るページです
楽しい気持ちでご参加ください

投稿! 言いたい

市議会議員選挙、若手の議員が増え、女性議員が3人となり、嬉しく感じて居ます。私自身も、一住民として色々勉強していきたいなと思っています。市政報告会や様々な発信をぜひお願いします。最近ではテレビが無い世帯もあります。MITも、ネット動画で議会の様子を配信して頂けると嬉しいです。現在の感染症流行により、またそれ以前からも困難な状況にある住民に寄り添う政策を考えていって欲しいと思います。期待しています。

山崎真理



はんざきさん ひと休み 松岡徹



モデル 宮本恵介



新緑と白皮 MA



◀奈良平宣子展にて M



毎月恒例のしめ山早朝登山 まにわ・しめ山プロジェクト



春草 ヤギ



蟻の行進 カグラタニ



日本・ミャンマー合作映画のZOOMトーク サポ



鹿田の耕作放棄地有効活用 織田



石楠花を見学する親子 M.O

6月定例会は

6月11日(金)から7月9日(金)

6月11日(金) 本会議開会・提案説明

25日(金) 本会議(一般質問)

28日(月) 本会議(一般質問)

29日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)

6月30日(水) 7月1日(木) 2日(金) 常任委員会

7月5日(月) 6日(火) 予算審査特別委員会

9日(金) 本会議(委員長報告、採決、閉会)

■ 会議は通常午前9時30分に開会します。

■ 正式には6月3日の議会運営委員会で決定します。



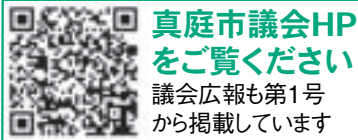
まにぞう

9月定例会の請願・陳情は 8月31日(火)まで

12月定例会の請願と陳情の受付は、11月30日(火)までです。来々3月定例会の締切は1月31日(月)、来々6月定例会の締切は5月31日(火)、様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。



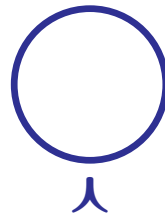
真庭市議会HP
をご覧ください
議会広報も第1号
から掲載しています

真庭市議会広報まにわ 第64号

GIKAI QUIZ

問題

真庭市議会議員
の人数は？



正 正解者の中から4人に「パルトボトルホルダーのセット」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

締切は6月30日(水)です。
前号の応募総数は40通で、正解者40人でした。ご応募ありがとうございました。



ちよつと
1枚

大月 森脇 黒川 吉原 伊賀 緒形 池田

私たちが議会広報をつくっています よろしくお祈りします

新人委員の 編集後記

今号から議会広報編集特別委員に加わった新人議員の吉原です。

選挙の関係もあつて今回は編集開始から発行までに時間がたいへん短く、さらにはメンバー6名のうち委員長、副委員長も含めた4名が新人という事態のなか、何とか無事に発行にこぎつけることができました。お忙しい中記事の執筆にご協力いただいた先輩議員のみなさんならびに諸般の作業を滞りなく手配下さった事務局の方々に心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の脅威がいまだ収まらない状況下ですが、ワクチン接種も開始され、事態収束に向けた動きは着実に進んでいます。一日も早く以前の日常を取り戻せるよう、気を緩めることなくいましばらく共に頑張つてまいりましょう。

議会広報は引き続き季刊ベースで皆様のもとにお届けいたします。議会から市民のみなさんへの情報発信の場として、また市民のみなさんと議会・議員とのコミュニケーションツールとして十分機能できるよう、一層の内容充実を図つていきたいと思います。

「議会のこんなことを知りたい」「こんな企画できないか」等、ご意見いただけると幸甚です。どうぞよろしくお願いいたします。(文・吉原)

M-I-Tを ご視聴ください

議会広報編集特別委員会

真庭市議会定例会は、真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。一般質問や各常任委員会付託案件審査は録画し後日放送しています。是非ご視聴ください。

委員長	吉原 啓介
副委員長	黒川 愛
委員	伊賀 基之
委員	大月 説子
委員	緒形 尚
委員	森脇 和正
事務局	池田 政師

議会改革は新たなステージへ